



第125号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



「第23回ロザリオ福祉まつりの光景をコラージュしました。」

目次

第23回ロザリオ福祉まつり…………… 2
 「認知症連携パスを活用した
 医療と介護の連携モデル事業」…………… 3
 障害者虐待防止センター…………… 3
 第18回長嶋茂雄旗争奪野球大会…………… 4
 平成24年度合同防災訓練…………… 4
 ご寄付に感謝…………… 5

聖家族園【男性浴室工事・作業棟トイレ設置】…………… 5
 ロザリオの聖母会ロゴマークによせて…………… 6
 フォトギャラリー…………… 7
 新任者紹介…………… 10
 寄付者御芳名…………… 11
 行事予定・お知らせ…………… 12

輝け笑顔ロザリオ祭り ― 絆の力 信じる力 ―

専務 野口厚司

台風17号と18号の間隙を縫うかのような、つかの間の晴天に恵まれた9月30日、法人創立60周年記念事業の一つとして位置づけた第23回ロザリオ福祉まつりが開催されました。

恒例の標語は15点の応募作品から、みんなの家の葉木佑佳さんと藤井祐里さんの「輝け笑顔ロザリオ祭りー絆の力信じる力ー」が採用され、手書きのポスターが会場のあちこちに掲示されて利用者を中心にした記念事業の雰囲気作りに一役をいかしました。

定刻の午前9時30分、体育館のセレモニーで開会の幕は切って落とされました。

来賓の千葉県障害福祉課山田課長様、地元旭市の明智市長様、香取市長代理の福水社会福祉課長様から丁寧なご挨拶をいただいたあと、米本実行委員長から標語応募のお二人に感謝状が贈呈されました。

その後体育館では、台風接近の

ため終了時刻を午後2時から1時に繰り上げた関係で一部スケジュールを変更しながら公演が行われ、利用者さんたちお馴染みの椎名佐千子ショーを最後に幕を閉じました。

一方バザー会場では、記念企画として準備した「スタンプリー」が好評をほくしたほか、お楽しみ券を手にした利用者のみなさんがテントで買い物をする姿が各所に見られました。また、これも記念企画としてお招きした仮設住宅からは30人の皆さんが会場を訪れてくださいました。

北ゾーンでは、ふれあい動物園、チュウチュウトレインに子どもたちが群がり、特設ステージでは若さあふれる千葉ロッテマリーンズMスプラッシュの皆さんのダンスや、若さという点では若干無理のある？施設職員のバンド演奏などが繰り広げられ、聖家族園玄関前の福引き特設会場には長蛇の列が。特賞の液晶テレビを引き当てた中

年女性にインタビューしたところ「つい先ほども商品券が当たった」とのこと。世の中にはクジ運の強い方がいるものだと感心させられる一幕もありました。

東ゾーンの特設舞台では専門家はだしのバンド演奏が行われる中、プールの魚のつかみ取りではびしょ濡れになりながら夢中で魚を追う少年、少女の姿が印象に残りました。また、体育館前の餅つきイベントはあんこ餅を求めるお客さんでごった返しました。

西ゾーンには福祉団体のテントが並び、正体不明の着ぐるみが販売促進に努める光景もありました。また、終了間際には残りの商品を投げ売りする店も出るなど終日賑わいを見せていました。

南ゾーンには海上寮、聖母療育園、聖母通園センター、ふたば保育園の施設・事業所や家族会のテントが並び、お馴染み聖母療育園父母会の焼き肉は今回も完売の好評ぶりでした。

60周年記念の最も主要な企画である戸塚記念館では、戸塚文卿神父の遺品（1880年代発行の医学書やローマ教皇サイン入りの文書など）や稲用神父、小原ケイ初代理事長等創設者の方々の若かりし頃のスナップ写真等が展示され、懐かしい記憶と面影をたどることができました。東京八王子からこの日のために駆けつけてくださったシスターの皆様は毎日、ロザリオ福祉まつりの成功を祈って下さっていたそうです。また、小原ケイ記念聖堂で吉川神父による記念ミサが行われことも記念事業にふさわしい雰囲気醸し出していただきました。

台風接近による影響を心配して終了時刻を1時に繰り上げるといふ変則日程になりましたが、利用者中心の記念事業になることを願って繰り広げられた第23回ロザリオ福祉まつり、例年より利用者の皆さんの姿が多かったように見えたのは私のひいき目ばかりではなかつ

たように思います。

実行委員会とそれを支えた事務局、ボランティア、ご家族、そして何より利用者の皆さんの協力によって楽しい一日にすることがで

きたことは60周年記念にふさわしく、きっと先人の方々も空から目を細めて眺めて下さっていたのではないかと想像します。

「認知症連携。パスを活用した 医療と介護の連携モデル事業」を受託

ロザリオ高齢者支援センター 所長 井上創

このたびロザリオの聖母会では、千葉県の高齢者福祉に関わるモデル事業のひとつである、「認知症連携パスを活用した医療と介護の連携モデル事業」を受託いたしました。この事業は、高齢者が、認知症になっても尊厳をもって、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指した取り組みです。千葉県では、県内4地域がモデル地域になっており、当法人でも「認知症コーディネーター」を配置しました。「認知症コーディネーター」は、認知症のある人とそのご家族に一貫して継続的に対応し、必要な医療や介護サービスの情報を提

供するとともに、関係者間の調整を図るなど、支援のトータルコーディネートを提供しています。また地域で認知症のある人とご家族を支えるためには、認知症への対応を行う人材や拠点等の地域資源をネットワーク化し、互いに連携を図りながら有効な支援体制を構築することが重要です。そのため検討や取り組みを実施したいと考えております。

高齢者であることは本来、お祝いすべきことであるはずですが。高齢者が尊敬され、「長生きして良かった」と言える社会づくりを目指し、微力ながらお手伝いさせていただければ幸いです。

障害者虐待防止センター 始まる！

香取障害者支援センター 主任 石橋友樹

障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、平成24年10月1日から、虐待を発見した場合の通報義務や家族の負担の軽減、虐待の防止などを図るために「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行されます。

この法律では、すべての人に、障害のある人への虐待を禁止しています。

「障害者虐待」とは、家族などの養護者、障害福祉施設従事者（利用者も含む）、企業の使用者（同僚も含む）などによる障害者に加えられた行為で、心身に深い傷をおわせ、人権を侵害する行為のことです。見えて見ぬふりも虐待です。「虐待をしている」という自覚、「虐待をうけている」という自覚のあるなしは問われません。

また、虐待はどこにでも起こる可能性があります。ちよつとした過ちが繰り返されて、「虐待」として深刻化してしまうこともあります。

私ども香取障害者支援センターは、

平成24年10月1日より、神崎町、多古町、東庄町から基幹相談支援センター及び障害者虐待防止センターの委託を受けました。

虐待の発生予防、早期発見・早期対応に取り組み、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者の権利利益の擁護に資することを基本に置いた切れ目のない支援体制を香取圏域全体で構築したいと思います。



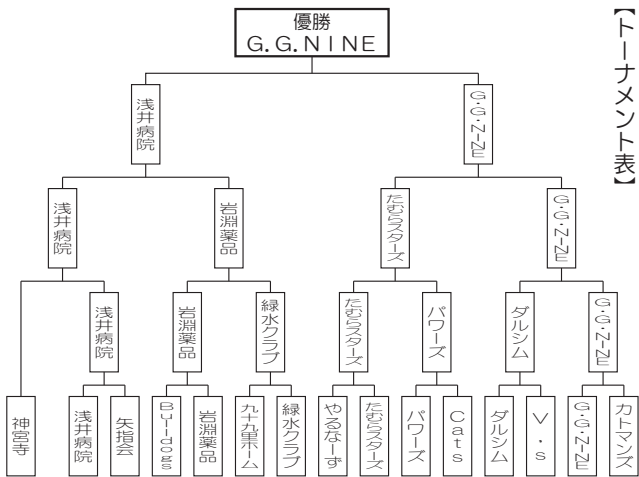
熱戦!! 第18回長嶋茂雄旗争奪野球大会

長嶋茂雄旗争奪野球大会 事務局

この野球大会は、社会福祉振興の為に長嶋茂雄氏より優勝旗が寄贈され、それを記念した大会です。福祉施設で働く職員の慰労・激励と福祉施設への社会の理解の向上を願って、施設職員と地域青年の交流が目的です。計16チームによるトーナメント方式の大会となっております。

今大会は、6月から8月までの2ヶ月を超す日程で熱戦が繰り広げられました。初出場のG・G・NINEが素晴らしいチームワークと1回戦からの勢いそのままに初優勝を遂げ、準優勝は優勝候補筆頭の浅井病院でした。実力伯仲でどちらが優勝してもおかしくない決勝戦となりました。また、東日本大震災からの復興への願いを込めて、大会期間中、募金箱を設置し、ご協力いただいた募金は義援金として旭市へ寄附いたしました。大会運営にご協力いただいた多くの皆様に感謝を申し上げます。来年もご協力の程何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【トーナメント表】



G.G.NINE



平成24年度合同防災訓練

聖マリア園 管理栄養士 三浦智明

秋という季節は何時になつたら来るのか?と誰しもが感じた猛暑の9月5日、「防災の日」に合わせた総勢809名による合同防災訓練が行われました。

消防法の改正により、スプリンクラーの設置が義務化され聖マリア園においても設置工事が完了しましたが、このことよって消防署の消火体制に若干の変更が生じるとの事で今回は初めて旭消防隊の方々にも参加を頂く事となりました。

訓練後に「各施設・事業所とも定期的に防災訓練を行っているのだから、スムーズに行えていませ」との講評がありました。

また、桑島理事長より「震災は何時起こるか分からない。避けることも難しいので訓練の積み重ねが重要」との講評を頂きました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災での教訓を生かしながら、「防災」という視点から「減災」へのシフトチェンジも視野に入れたマニュアル策定や訓練を行い、「いつ

か」のために生かせればと考えています。

利用者、ご家族、職員の命を守ることを第一に努めましょう。ご協力いただいた、旭消防署、椎名区長様ありがとうございました。



ご寄付に感謝

【共同募金会車両寄付】

佐原聖家族園

佐原聖家族園では、千葉県共同募金会様からの助成金で、平成24年7月20日TOYOTAのハイエースのリフトカーを頂きました。利用者の受診の送迎、土日の余暇活動及び、行事等移動の際に大切に使用させて頂きます。

この場をお借りして、共同募金会様ならびに、赤い羽根募金にご協力頂いた皆様に、心より感謝いたします。ありがとうございます。



【旭市立海上中学校から寄付】

みんなの家

8月9日、旭市立海上中学校生徒会の皆様から、丹精込めて育ててくださったマリーゴールドをい

いただきました。今年は14個のプランターに植えてくださり、早速みんなの家の玄関先や喫茶ひまわりの前に並べさせて頂きました。心から感謝申し上げます。



【「アトリエK」の皆様から

絵画のご寄付】

24年8月に「アトリエK」メンバーの皆様からの絵画の寄付をいただきました。代表の加藤健二様には以前にも絵画をいただいており、本会をお気にとめてくださっていました。

今回は自身の教室のメンバーに本会を紹介いただき9名の作品をご寄付くださいました。いただいた絵画は、海上療養所、ワークセンター、デイサービスセンター・ローザ、佐原聖家族園、東総就業センターに飾らせていただいております。

「アトリエK」の皆様のおかげに、心より感謝申し上げます。

◆聖家族園◆

男性浴室増改修工事

稗田睦樹

7月から約2カ月かけ男性浴室の増改修工事を行いました。今回の増改修で施設として心掛けた事は、20年後も安全な入浴です。聖家族園の利用者も加齢と共に身体機能の低下がみられ、危ないと感じる場面がありました（浴槽の高さや滑りやすい足元等）。今回の工事でその部分が解消されると思っております。広く綺麗になりましたが、その分しっかりと付き添い見守りをし、安全な入浴を行うように努めます。この2ヶ月間は利用者の皆様には多大な御迷惑をおかけしました。待たせた分、体だけではなく、心もリフレッシュできる空間になったと思えます。作業で疲れた体と心を癒し、明日への活力に繋がる入浴時間になりたいです。



農耕班作業棟トイレ設置について

渡辺菜摘

震災前、農耕班は聖家族園洗濯室前にあるトイレを利用しており、利用者は作業棟とトイレを自由に行き来していました。震災後トイレまでの道が使えなくなり、また、工事の車両も多く出入りするようになったため、支援員が付き添うようになりました。トイレの行き来が多くなり、休憩の間の作業棟内ののんびりとした雰囲気は慌しくなったことから、聖家族作業所裏にある農耕班作業棟前にトイレを設置しました。作業棟前にトイレを設置してからは以前の様に自由にトイレに行き来でき、作業棟内でみんなでのんびり過ごすことが出来ています。作業棟前トイレは、内装等とても素敵に作られています。農耕班に限らず、いつでもどなたでも利用していただけたらと思います。困ったことなどありましたら、聖家族園農耕班に声をかけて下さい。



社会福祉法人ロザリオの聖母会 ロゴマークによせて

師イエズス修道女会 シスター 北爪悦子

今年、創立60周年を迎えた本会は、これを記念する事業として9月30日(日)にロザリオ福祉まつり、続いて10月10日(水)に創立記念式典を開催しました。

今後は第三弾として、12月7日(金)に東総文化会館で障害者週間行事を開催する予定です。

また、右記の3大行事の他に本会を象徴するロゴマーク制定を検討し、デザイン原案を公募しました。その後、応募作品の中から理事長が選考したデザインを、本会創設者と親交のあった師イエズス修道女会の北爪悦子修道女に提示し、ロゴマーク作成を依頼しています。

以下は、北爪氏がロゴマーク制定に寄せて執筆した文章です。連載「司祭の書齋より」の筆者である吉川敦本会理事の強い要望により、ここに全文を掲載するものです。(このため、今回の「司祭の書齋より」は休載とします。)

1952年5月29日

社会福祉法人認定

2012年10月7日

(ロザリオの聖母の記念日)

60周年のあゆみ

Ⅰ『キリスト教の精神に基づき、キリスト教信奉者の献身により支援することを目的として、社会福祉事業を行うことにある。』

〔福祉〕

幸福

公的扶助やサービスによる生活の安定・充足
満ち足りた生活環境

〔社会福祉〕

国民の生存権を保障するため、貧困者や保護を必要とする児童、母子家庭、高齢者、身体障害者など社会的障害を持った人びとに対し

る援護、育成、更正を図ろうとする公私の社会的努力を組織的に行うこと。

*福祉を必要とする人がいて、我々に来ることがあるなら、立ち止まっただけではいかなかった。そこには、福祉を必要とする人がいて、それを望むなら、その門は開かれていてほしいという願いがあった。(50年記念誌Ⅱ事業の概要より抜粋)

*本会の施設に入院・入所している方約400名、施設に通所している地域の方約170名、在宅生活を支援している対象者約1800名に及ぶ。これに常勤314名、非常勤176名、計491名の職員がかかわっている。・・・現在何をしているかより、「なぜ」「何のために」このような事業を始めるにいったか、「なぜ」今のこの事業を行っているかを説明しようとした。時代をさかのぼって考えてみる

と、私どもは常に世の光の当たりにくい人々と共に生きようと努力してきた。それが弱い人であったり、社会や家族の負担に耐えられない人であったり、社会や家庭に捨てられた人であったりした。その人々に樂園をとの願いをこめて努力してきたのである。・・・いまや施設はそこに入所する人やそこに通所して行く人のためだけにあるのではないことは明白である。施設は社会全体の福祉の拠点としての役目を持っている。(50年記念誌Ⅷ将来を展望してより抜粋)

Ⅲ法人名制定の経緯

昭和27年頃、京都府下にある佐賀村というところに若い数人の女性たちがいた。その村を司牧していた司祭の指導の下、毎日日ロザリオの祈りをするように、そしてそれがグループの規則となった。グループの形が整

えられ、法人名をファチマの聖母御出現の出来事を記念して「ロザリオの元后会」と決定した。

1952年 昭和27年5月29日
社会福祉法人ロザリオ元后会

1989年 平成元年5月9日
名称変更 現在の社会福祉法人
ロザリオの聖母会へ

Ⅲ ロザリオの聖母会のモットー

△光のあたりにくい 人々とともに歩む
▽

ロザリオの聖母会の原点△光のあたりにくい 人々とともに歩む▽という「光」とは「神の愛」(アガペー)のことである。つまりキリスト教の精神の核心。

「神がアガペーをもって私たちに愛してください」ということは、神が私たち一人一人の個人をそれ程愛し、人が無価値なりに断じようとも、神ご自身が、『価値あり』と断定してください。個人を尊厳することを意味する。個人を尊厳は実にこの神のアガペーの価値判

断に依拠し、かくして神によって尊厳を発見させられた個人は、自分の周りに同様の尊厳をあたえられた個人を発見し、アガペーの主体となっていく」ことである。

『人間』と『その命』の『尊厳の根拠』はこの「アガペー」に極まる。・・・

この「アガペーの愛」に生きるべくロザリオの元后会を立ち上げた女性たちがいた。彼女たちは共同生活を営み、祈りを大切にし、奉獻者(修道者)に準ずる生き方で、病める人々の為に生涯を捧げていった。

またそこに協力した職員たちの心にも、「アガペー」の熱き火が燃えていた。

今 還暦を迎えた私たちも、その初心に還って、これからの『時のしるし』に立ち向かう糧としたい。(広報ロザリオ124号
ロザリオの聖母会理事 吉川敦神父)

ロザリオの聖母会には、本会なりの理念があります。変化に对应しながらも常に変わらない、『人

間』と『その命』を見つめ続けている姿勢があります。

変化の中にあっても、「ここに福祉があります。」という静かな自信に支えられた毎日でありたいと思います。(広報ロザリオ70号
前理事長故アウグスチヌス細澁哲夫氏)

Ⅳ ロゴデザイン制作

- (1) 先人の方々の神に対する信頼と献身的な働き
- (2) 彼女たちを支える協力者との深い絆

(3) ロザリオの聖母会の理念に支えられ、求められる目の前の人々のニーズに迅速に対応しようとする各施設の相互の協力体制とその行動力

今日までの歩みに感謝し、60年連綿と受け継がれたキリスト教の精神を軸に未来にむけての更なる奉仕の輪を広げていく。そんな思いを、ロゴのデザインのコンセプトにしました



▲聖家族園
「スイカ、割れるかな？」



▲聖家族園
「そうめんなかなか掴めない><」



▲聖家族園
「気持ちいいね♪」



▲聖家族園
「絶好のプール日和ですw」



▲聖家族園
「出店がたくさん楽しいな」



▲聖家族園
「次はどこへ行こうかな♪」



▲佐原聖家族園
「車椅子で乗れた。気持ちいい。」



▲佐原聖家族園
「初めての体験。楽しいけど…少し怖い。」



▲佐原聖家族園
「浴衣姿素敵でしょう?」



▲佐原聖家族園
「家族そろってハイチーズ！」



▲聖マリア園
「納涼祭楽しんでます！」



▲聖マリア園
「食べ物はまだかしら？」



▲聖家族作業所
「チョコバナナ屋さん前で、はい！チーズ！」



▲聖家族作業所
「みんなでワッショイ！」



▲聖母療育園
「ガーデンホテル成田で洋食バイキングを楽しみました♪」



▲みんなの家
「NHK千葉 みんなの笑顔最高！」



▲みんなの家
「成田山新勝寺でパチリ」



▲みんなの家
「もとは、とれたかな？」



▲みんなの家
「幸せなひととき」

第23回 ロザリオ福祉まつり



「台風17号接近にもかかわらずおかげ様で大盛況でした。」



「毎年恒例！つきたてのおもち販売です!!」



「東京から師イエス修道女会のシスターも参加しました。」



「スタンプラリー台紙を用いた60周年記念パネルです。」

新任者紹介

聖母療育園

聖マリア園

海上寮療養所



支援員

花
香
節
子
施設経験豊富な方です。趣味は、音楽鑑賞でコブクロが好きだそうです。



支援員

宮
内
淳
子
明るく笑顔が素敵な方です。利用者さんにも優しく丁寧な支援をしています。



支援員

来
栖
綾
子
積極的に仕事に取り組み姿勢は手本にしたいです。今後さらなる活躍に期待したいです。



看護師

宮
内
薫
以前は、リハビリテーション病院で勤務していました。趣味は、旦那さんとバイクでツーリングに行く事だそうです。



支援員

江
見
智
聖
今年の9月より常勤として働いております。若くて落ち着きのある支援員さんです。元気な声かけと笑顔で頑張ってくださいませ。皆さんよろしくお願ひします。



介護員

羽
田
恵
子
10月から常勤になります。患者さんに寄り添う心を持っている人です。今後の介護に期待しています。

寄付者御芳名

平成24年6月18日〜9月20日

阿蘇明美様 伊藤八千代様 土居泉様 安藤裕之様 佐倉知恵子様 山田積善様 芳野積善様 田中芳毅様 實川松戸教会様 カトリック松戸教会様 吉松和哉様 田村富士雄様 上木名慧子様 辻野尚昌様 姫沼宏昌様 米本弥栄子様 松本平八郎様 高尾早苗様 飯島正江様 立川國紀様 宮本宏子様 金秋陸夫様 岩瀬薬品(株)旭営業所様 (株)ンバーとつぷ 代表取締役 外山慎司様 千葉県重症心身障害児(者)を守る会様 若井一廣様 小関邦夫様 小宮和彦様 根本さた様 (株)栗源運輸様 (株)マンツーマンアカデミー様 堀川洋子様 寺嶋光子様

柳利弘様 常世末枝様 川口昭枝様 吉田和功様 荒井和雄様 芳賀信治様 村田米治様 宮内米治様 吉成豪夫様 鈴木木祐昇様 渡辺祐樹様 穂田三千子様 (株)うさみカメラ 代表取締役 平野正憲様 齊藤敏子様 伊藤正一様 柴藤貴子様 加瀬真司様 林とめ子様 石毛滋樹様 斉藤洋樹様 江波光枝様 市東紀子様 安田富子様 高木鮮魚店 高木初子様 福富鐵志様 菅谷喜作様 向後政江様 (株)日立ビルシステム様 斎藤テルエ様 永島武様 角田利孝様 村山安孝様 大門孝夫様 (株)波房 朗様

工藤毅司様 長谷川晃様 外岡則毅様 宇野澄富様 加瀬春一様 小森良一様 山口典彦様 滝口昭彦様 鈴木純彦様 徳丸啓夫様 大畑忠啓様 塚本瑞紀様 石橋幸夫様 平山登記事務所 代表 平山保幸様 高橋百代様 新川ちよ子様 関塚充恵様 舟戸あや子様 堀越貢様 吉田政毅様 林浩毅様 伊藤基満様 (株)伊藤東 徹様 奥田真知子様 菖蒲沢伸雄様 加藤純夫様 篠塚純夫様 野平匡邦様 清水美子様 荒井美子様 保坂宣広様 柴田幸雄様 太田義人様 前田忠勝様 高橋英勝様 大塚理恵様 伊藤直一様

君塚菊五郎様 阿部唯路様 菅井茂様 菅毛金茂様 成木正明様 大田律子様 久保田祐輔・明裕様 押田祐輔・明裕様 副島隆様 香取實様 加瀬明子様 片野よし子様 田中長和様 竹下文和様 玉造和男様 太田のり子様 山本真寛様 根本智氏様 岩澤秀隆様 東総民主商工会 鶴岡定夫様 スズキメタル(株) 名雪茂子様 寺本修子様 伊藤信勝様 林武男様 長崎壽郎様 岩瀬洋二郎様 黒田勝次様 黒野忠雄様 平野正雄様 飯田直様 カトリック片瀬教会 佐々木日出男様 ミュージックフエスティバル 実行委員長 高澤実均様 宮澤均様 旭市役所環境課 きれいな旭をつくる会 藤原利枝子様 佐野淑子様 聖心会 ヴィラ不二様

島田瑞季様 田村照夫様 滑川利子様 加瀬和子様 旭市母子寡婦福祉会旭地区 穴澤正博様 岡信夫様 東日本電信電話(株) 椎名石油様 椎名二郎様 大久保厚子様 椎名昭男様 松田昭男様 高谷紀斐子様 山口アドラップ様 (株)アドラップ 吉田トヨ様 伊藤房吉様 名智新造様 加藤新造様 江波勲様 高野丈夫様 高野節子様 小嶋昭三様 伊藤清江様 佐々木日出男様 原裕子様 宮田裕均様 丹野伸様 飯田昇様 佐々木日出男様 ミュージックフエスティバル 実行委員長 高澤実均様 宮澤均様 旭市役所環境課 きれいな旭をつくる会 藤原利枝子様 佐野淑子様 聖心会 ヴィラ不二様

風間誠様 (株)国際エアールジエ 代表取締役社長 大山吉男様 フェニックス旭店 代表取締役 沼田満広様 ハッピーランド旭店 代表取締役 飯島義兵様 ザクザク大勝 代表取締役 荒川浩一様 安原包夫様 高木節子様 中田長子様 松原智恵子様 千葉興業銀行旭支店 日本カーリユーシヨンス(株) 安原包夫様 堀川洋子様 岩本逸夫様 山中知恵子様 大川清子様 堀川洋子様 石川暁子様 岡村太美子様 岡村悦子様 工藤悦子様 菅原智子様 橋本芙起子様 山中知恵子様 高木裕美子様 中島久仁子様 あざみ会 会長 鈴木たえ様 奥住香代子様 中村復樹様 小島八重子様 伊東千世子様 菅原智子様

